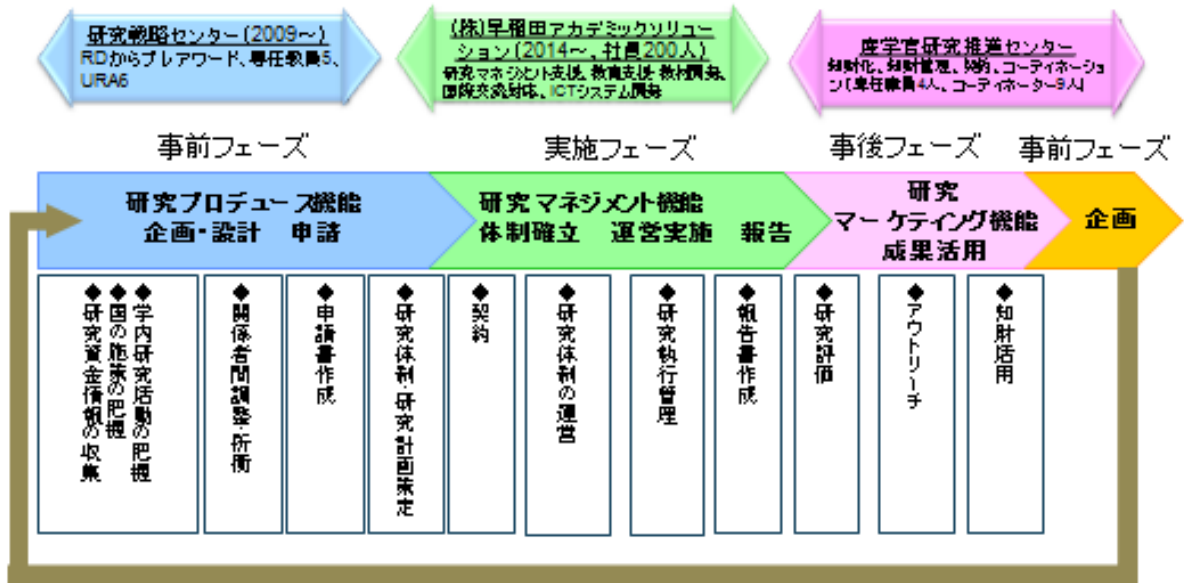


イノベーション創出への取組ーリサーチアドミニストレーションシステムー

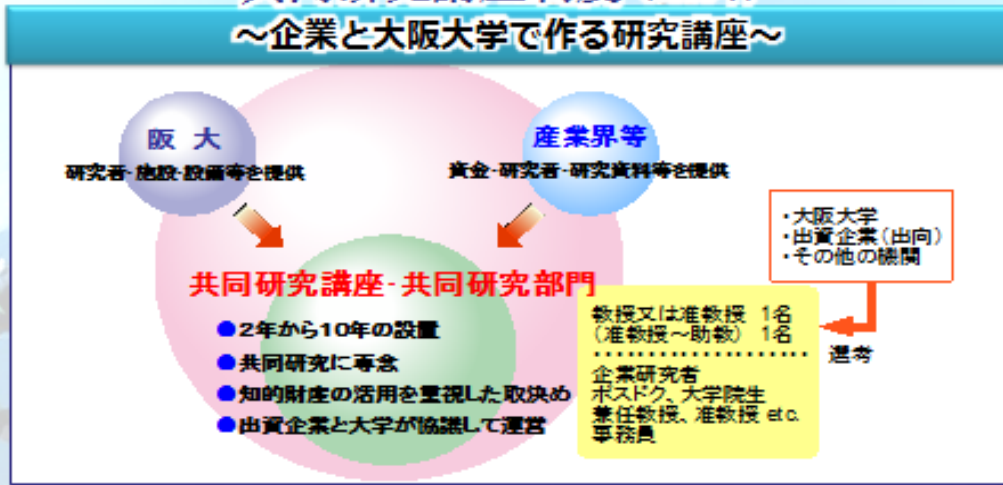


URA体制の位置づけ



共同研究講座制度（2006年）

～企業と大阪大学で作る研究講座～



共同研究講座の特徴	他制度との相違
大学と企業が協議し、講座を運営 ◇産業化を見据えた研究内容・期間の設定 ◇研究内容に合わせた研究スタッフの配置 ◇知的財産、成果は共有	◇寄附講座は大学主体による講座運営 ◇共同研究は個別開発の研究

地域イノベーション創出に向けた
北見工業大学における体制・人材の機能



大学の幅広い社会貢献活動強化を担う産学官連携スタッフ

